

水田農業

平成20年度生産調整方針の配分ルールなどを決定

市町村	H20 生産目標(t)	H19 生産目標(t)	前年対比 (%)
松本市	16,585	16,371	101.3
塩尻市	3,928	3,903	100.6
安曇野市	20,245	20,342	99.5
波田町	1,690	1,713	98.7
麻績村	859	824	104.2
生坂村	392	394	99.5
山形村	731	726	100.7
朝日村	343	340	100.9
筑北村	1,254	1,223	102.5
合計	46,027	45,836	100.4

安曇野市水田農業推進協議会は12月20日、臨時総会を三郷公民館で開きました。
 この日は、平成20年の安曇野市の生産数量目標となる20,245ト(前年比99.5%)についての生産調整方針参加農業者への配分のルールや平成20年産米の市内各地域別の需要量に関する情報の算定方法などを決定したほか、産地づくり交付金の変更点についての説明もありました。
 同協議会会長である平林市長は「平成19年の米価は依然として厳しい状況になっていて、大きな影響が出ている。安曇野の景観にも影響が出てくるのではないかと大きな不安を持っている。今後も市としてもできる限り、支援をしていきたい」とあいさつしました。

災害協定

災害発生時の迅速な情報提供に向けて

市と(株)あづみ野テレビは11月29日、災害時におけるケーブルテレビ放送に関する協定書調印式を行いました。
 この日は、平林市長とあづみ野テレビの降旗俊宏代表取締役社長が出席して、協定書に調印しました。今回の協定には、地震・風水害の発生やその恐れがある場合に、市民の皆さんに円滑に情報を伝えるため、同社にテレビ放送の依頼をすることなどが盛り込まれています。平林市長は「災害時の円滑な情報提供は、市民の安全を守る上で重要であり、多くの命が救われるようになると思う」とあいさつしました。



この日は、市が指定する避難施設に設置する地上波デジタルテレビ5台が市へ寄贈された

民生児童委員

民生児童委員・主任児童委員が決まりました



平林市長から委嘱状が伝達された

各地域の身近な相談相手として、地域と行政のパイプ役として、見守り・支援などの活動を行う民生委員・児童委員および主任児童委員の委嘱状伝達式が12月1日、穂高健康支援センターで行われました。
 この日は、民生委員・児童委員204人(新任90人、再任114人)、主任児童委員12人(新任6人、再任6人)へ厚生労働大臣からの委嘱状を平林市長が伝達しました。任期は、平成19年12月1日から3年間です。なお、今回委嘱された民生委員・児童委員・主任児童委員の皆さんの担当区域などを掲載した名簿を、2月6日発行の広報お知らせ版に掲載する予定です。

環境審議会から答申書が提出されました

環境基本計画



降旗会長から平林市長に環境基本計画(素案)に関する答申が手渡された

安曇野市環境審議会(降旗和夫会長)は12月6日、環境基本計画(素案)の答申を平林市長に手渡しました。
 同審議会は、11月初めに諮問を受けて、5回にわたる検討会を開催し、審議してきました。答申の中では、環境基本計画策定委員会が作成した素案を了解したほか、計画全体のイメージ図ならびに環境施策推進のための当面の数値目標を設定することを求めました。降旗会長は「優しく住みやすい環境は、市民の幸せ、市の発展の基になる」とあいさつ。平林市長は「計画の内容を職員がしっかり理解し、各施策の根底に置いてさまざまな施策を実行していきたい」と話しました。3月には、計画のダイジェスト版が全戸配布されるほか、2月23日・24日には、あづみ野環境フェア2008が開催されます。

市内17小・中学校の通学区域の検討を始めました

通学区域審議会

市教育委員会は、市立学校通学区域の設定、変更などに関して、調査・審議する安曇野市立学校通学区域審議会を12月11日、豊科公民館で開きました。
 この日は、望月映洲教育長から学識経験者やPTA推薦などで選ばれた20人の委員に委嘱書が手渡されたほか、諮問内容と市内の小・中学校の通学区域およびスクールバスの現状についての説明が行われました。望月教育長は「合併し、旧町村の境などもなくなり、小・中学校の通学区域についていろいろな問題点なども出てきている。具体的に通学区域の変更が必要などところがあるのか、スクールバスの運行なども含めて審議してもらいたい」とあいさつしました。
 審議会は、現在の通学区域などが定められてきた経過をよく理解し、拙速とならないように十分な議論を行いながら、各地域共通したより良い方向を見出すように進めていく方針を確認したほか、各地域の通学区域やスクールバスの現状と問題点の把握、調査・研究、情報収集などを行い、平成22年度を目途に答申書をまとめる予定です。なお、審議会会長には旧穂高町教育長の松尾明保さんが、職務代理には旧豊科町教育長の山浦廣海さんが決まりました。



安曇野市立学校通学区域審議会 概要

- 設置目的** 市立学校の通学区域の設定または変更等に関し、教育委員会の諮問に応じて調査審議にあたる
- 審議内容** (1)通学区域の設定又は変更に関すること
 (2)通学区域の設定又は変更について、必要により調査・研究・情報収集に関すること
 (3)スクールバスに関すること
- 審議会方針・日程など**
 ・各地域共通のより良い方向性を見出すように、現状に定められてきている経過をよく理解し、拙速とならないように十分な議論を行う
 ・年3回(7月・10月・1月)定期的に審議会を開催し、調査・研究、情報収集を行い、審議する